

市内団体との意見交換会

少子高齢化や防災対策が話題に

議会では、市民の皆様の多様なご意見などをお聴きして市政に生かすため、意見交換会を開催しています。令和2年度は3つの団体の方々と実施しました。



自連協(自治会連絡協議会)と総務委員会(1月21日) テーマ 防災

いただいたご意見等に関して、後日、委員会で調査を行いました。

団体 防波堤建設の進捗状況が全く分からないので、市報に情報を掲載してはどうか。

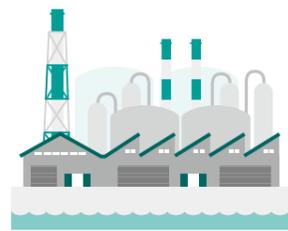
団体 国土交通省所管の和歌山港湾事務所ホームページに、進捗に関する情報が掲載されており、市のホームページからも参照できる。(関連記事20ページ)

団体 災害時、仕事で外出先から帰宅できないとき、どこへ避難するか分かる方法はないか。

団体 「和歌山県防災ナビ」のアプリや、市のホームページにある「かいなんMAP」等で、近くの避難場所等を検索できる。

団体 津波により、臨海部の工場の石油貯蔵タンクで発火や油漏れが起きたら、下津方面まで火がこないか。

漂流物が原因で配管が破損した場合、火災の可能性はゼロではないが、1万キロットル以上のタンクは耐震設計で、緊急遮断弁も設置されている。なお、事業者の協力を得てタンク現地調査を実施する予定です。



女性会(女性会連絡協議会)と議員代表6名(1月19日) テーマ 人口減少対策 他

団体 海南医療センターに産婦人科がないのはなぜか。

議員 限られた医師数で安心して出産できる体制を維持するため、県の周産期*医療システムにより、拠点病院を定めており、本市を含む和歌山医療圏では、和歌山市に所在する県立医大病院などが該当する。

団体 どうすれば若い人が住むまちになると考えているか。

議員 地域の魅力、人材や歴史・自然などの効果的なPRが大切ではないかと思う。

団体 若者に県外から移住してもらうため、空き家バンクのPRが必要である。



*周産期：妊娠22週以降から生後7日未満までの赤ちゃんの出生前後の時期

地域見守り隊*と教育厚生委員会(1月25日) テーマ 地域の見守り活動

団体 見守り隊の高齢化や固定化が課題である。

議員 どの地区でも見守り隊の高齢化や保護者数の減少等の課題があると思うが、PTAとの話し合いの場を持っているか。

団体 特に協議したことはない。見守りは自発的なものと思っている。

議員 見守り隊への勧誘はどのようにされているか。

団体 地区のいろいろな会などを通じて声掛けをしている。



*地域見守り隊：登下校時に地域の子どもの安全を見守る活動をするボランティア

